

地域社会学会会報

No.241 2024 .10. 5

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 横浜国立大学都市科学部
齊藤麻人研究室内

TEL 045-339-3291(直) FAX 045-339-3291 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728
E-mail jarcs.office@gmail.com URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

◆…………… 〈 会報 241 号のトピック 〉 ……………◆

- 1) 2024年度の会費納入をお願いします。2023年度よりSMOOSYによるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認をお願いします。

目次

- 10月19日(土)開催の第2回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い
1. 理事会からの報告
 2. 研究委員会からの報告
 3. 編集委員会からの報告
 4. 国際交流委員会からの報告
 5. 事務局からの報告
 6. 会員異動
 7. 会員の研究成果情報
 8. 理事会のご案内

2024年度第2回研究例会のご案内

日時 2024年10月19日(土) 13:30~17:00
会場 東洋大学白山キャンパス6号館2階6217教室
(対面とZOOMによるハイフレックス形式)

※アクセス方法等は、開催2日前をめどに、会員メーリングリストで配信します。

【報告】

室井研二(名古屋大学)
「地域と「自然」—環境変動への適応」

【地域社会学会50周年記念事業「地域社会学を振り返る」(6)】
「私と社会調査・再説～地域社会研究会への参加と関連させて～」
(オンラインでの報告を予定)

報告者 細谷昂(東北大学名誉教授・岩手県立大学名誉教授)
藤井和佐(摂南大学)「コメント」

10月19日(土)開催の第2回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

1. 会場にご参加のみなさま

会場：東洋大学白山キャンパス6号館2階6217教室

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20、代表番号：03-3945-7224

★来場の際には入構証が必要になります。

10月17日頃にメーリングリストでお送りしますので、そちらを入稿の際にご提示ください。

アクセス：白山駅(都営地下鉄三田線)徒歩5分/千石駅(都営地下鉄三田線)徒歩8分
本駒込駅(東京メトロ南北線)徒歩5分/千駄木駅(東京メトロ千代田線)徒歩15分

<https://www.toyo.ac.jp/about/introducing/access/>

*西門から直接6号館に入れます。南門、正門/バス停前から入構の場合は井上円了記念館の隣のエスカレーターを降りて地下2階から6号館に入れます



2. オンラインでの参加のみなさま

<事前の準備のお願い>

- ◆ 事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆ Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆ Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

<当日のお願い>

- ◆ 待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。
- ◆ ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆ 画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆ 研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

<配布資料について>

- ◆ 報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆ 配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

<質問・発言について>

- ◆ 以下のいずれかの方法でお願いいたします。
 - ①Zoom の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
 - ②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
 - ③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

<Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて>

- ◆ オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom での交流時間は設けないこととさせていただきます。

<当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

- ◆ 当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

当日サポートセンターの連絡先

- ◇ メールアドレス saito-asato-nb[アット] ynu.ac.jp [アット]を@にしてください。
- ◇ 当日配布資料の再配布はありません。

<問い合わせ先>

- ◆ 当日の Zoom 操作に関する以外は、研究委員長（室井研二、muroi.kenji.w9 [アット] f.mail.nagoya-u.ac.jp）までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

1. 理事会からの報告

2024年度地域社会学会第2回理事会は、2024年7月7日（土）の10時30分～12時30分まで関東学院大学金沢八景キャンパス（+オンライン）で行われました。出席者は以下の通りです（敬称略）。

小山弘美、齊藤麻人、清水洋行、二階堂裕子、藤井和佐、松宮朝、町村敬志、室井研二、望月美希、矢部拓也、阪口毅、佐藤洋子、武田俊輔、辻岳史、野坂真、平井太郎、前島訓子、三浦倫平、渡邊隼

理事会では報告事項6件、審議事項5件が議論されました。

●空席だった役職の選任について

以下のように承認されました。

社会学系コンソーシアム担当：林浩一郎会員（非理事・名古屋市立大学）

監事：文貞實会員（東洋大学）、清水亮会員（東京大学）

ウェブ担当（理事・事務局）：山口博史会員（徳島大学）

●HPのSMOOSYへの移行について

望月理事、山口理事、事務局（庶務担当と財務担当）から1名、前期にウェブ担当だった木田会員でワーキンググループを作り、移行を進めることとなりました。

移行が行われた場合には学会のURLが変更になる（旧サイトは残す）ことが合意されました。

●2024年度研究例会

下記の日程について決定しました。詳細は決まり次第HPやメーリングリストでご案内します。

第2回：10月19日（土）東洋大学白山キャンパス

第3回：12月7日（土）龍谷大学大阪梅田キャンパス

第4回：2月1日（2025年）。場所未定（関東地方）

●2025年度第50回大会

会場校：東京経済大学

日程：2025年5月17日、18日を第1希望として調整中

開催校委員長：町村敬志会員

（齊藤麻人）

2. 研究委員会からの報告

7月7日（日）に2024年度第1回研究例会が関東学院大学にてハイブリット形式で開催されました。清水洋行会員からは今日の日本の地域社会における移動・移住現象にフォーカスした2年間の研究委員会活動の総括、浦野正樹会員からは「地域社会学を振り返る」企画として地域社会学と災害研究の関わりについて報告があり、闊達な意見交換が交わされました。その概要については『地域社会学会ジャーナル』第17号の報告論文と批評論文をご参照ください。

研究委員会では、7月19日（金）に第2回の委員会をオンラインで開催し、今期の研究テーマを「地域と「自然」—環境変動への適応」に決定しました。気候変動がもたらす諸影響や、資源のアンダーユースといった動向を環境変動として捉え、その具体的な現れや適応のあり方を地域社会に照準して解明するといった趣旨です。環境変動適応は学際的な研究テーマであるため、まずは先行する他領域の研究から示唆を仰ぎ、地域社会学としての立ち位置や貢献のあり方を探りたいと考えています。チャレンジングな研究課題ではありますが、会員の皆様の積極的な参加を切に期待しています。なお、研究委員会のメンバーに原田峻会員（立教大学）、吉村真衣会員（名古屋大学）が加わりましたことを併せてお伝えします。

次回の第2回研究例会では、上記研究課題に関する頭出しの報告を室井が行う予定です。また、地域社会学会50周年企画からは細谷昂先生にご報告頂く予定です。なお、細谷先生の発表については事前に資料をHP上で公開する予定です。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

（室井研二）

3. 編集委員会からの報告

本年度第1回編集委員会を7月2日に開催しました。年報37集の編集作業の手順やスケジュールの確認、書評対象図書や執筆者の選定に関する検討を行いました。また、編集委員会のメンバーに横山智樹会員（高崎経済大学）と角一典会員（北海道教育大学）が加わりましたことを併せてお伝えします。

(松宮朝)

4. 国際交流委員会からの報告

2025年7月6日—11日にモロッコのラバトにて 5th ISA FORUM OF SOCIOLOGYが開催されます。テーマは“Knowing Justice in the Anthropocene”です。アブストラクト募集の締め切りは10月15日です。RC21における募集テーマは以下をご参照ください。参加登録は12月5日から開始となります。

<https://isaconf.confex.com/isaconf/forum2025/webprogrampreliminary/Symposium822.html>

(小山弘美)

5. 事務局からの報告

(1) 会費納入状況

2024年10月4日時点の会員は385名（一般339名、院生27名、終身19名）で、2024年度の会費納入率は30%でした。

(2) 会報240号・ジャーナルNo.16の発行

庶務担当理事から学会HP上で会報240号とジャーナルNo.16の発行が報告されました。

(齊藤麻人)

6. 会員異動

<新入会員>

- ・ Song Gi Jung 名古屋大学大学院
- ・ 大橋寛治 特定非営利活動法人アザックとよさと スポーツ社会学
- ・ 佐々木大記 筑波大学 原子力災害による避難と復興李凱

(以上、2024年7月7日理事会で承認)

7. 会員の研究成果情報(2023~2024年度)

2023年 [書籍・分担執筆]

- ・ 玉野和志「社会調査とはなにか」, 「ドキュメント法/資料分析/二次分析」, 文貞實, 山口恵子, 小山弘美, 山本薫子編著『社会にひらく社会調査入門』ミネルヴァ書房, 2023年11月

2023年 [その他]

- ・ 玉野和志「書評: 名和田是彦著『自治会・町内会と都市内分権を考える』, 石井太一郎編『横浜の市民活動と地域自治』, 伊藤雅春著『熟議するコミュニティ』」『コミュニティ政策』21, 2023年9月

2024年 [著作]

- ・ 玉野和志『町内会——コミュニティからみる日本近代』ちくま新書, 2024年6月
- ・ 玉野和志・船津鶴代・齊藤麻人編著『東南アジアにおける国家のリスキューリング——都市研究と地域研究との対話』ミネルヴァ書房, 2024年2月

- ・ 北川由紀彦・玉野和志編著『[新版] 都市と地域の社会学』放送大学教育振興会, 2024年3月
- ・ ニール・ブラナー, 林真人監訳『新しい都市空間——都市理論とスケール問題』法政大学出版会, 2024年5月

2024年 [論文]

- ・ Mahito Hayashi and Kazushi Tamano, "Community and Japanese Development Capitalism: A Scaled and Sociological Political Economy". *Critical Sociology*, 1-22, 2024年6月

2024年 [その他]

- ・ 玉野和志「書評：稲月正・加来和典・牧野厚史・三隅一人編著『シリーズ生活構造の社会学① 生活からみた社会のすがた』, 室井研二・山下亜紀子編著『シリーズ生活構造の社会学② 社会の変容と暮らしの再生』」『社会分析』51号, 2024年3月
- ・ 玉野和志「書評：祐成保志, 武田俊輔編『コミュニティの社会学』」『日本都市社会学学会年報』42号, 2024年9月

8. 理事会のご案内

第2回理事会

日時 10月19日(土) 10:30~12:30

東洋大学白山キャンパス6号館2階6217教室+ハイブリッド